

1 論点の整理

○地域包括ケアシステムの構築においては、在宅医療・介護の連携が最も重要となる。

- ・地域包括ケアシステムの構築において、多職種連携が課題である。
- ・各市の医療・介護資源は大きく異なる状況である。
- ・各市の取組状況及び課題も異なる状況である。



各市における状況が大きく異なるため、統一的なモデルを定める事は効果的ではない。多様な取組について検討し、情報の共有を図ることが必要である。

2 来年度に向けて

- 情報の共有にあたり、各市における医療と介護の担当者の連携も同時に図る方策を検討してはどうか。
- その上で、指定都市の担当者会議を定期的に関開くなど、市レベルで担当者のネットワーク構築を図り連携を強めることを検討してはどうか。